

健康

基礎から学ぶ
糖尿病



県糖尿病専門医会代表の天満仁医師(49)に、今回は糖尿病の合併症について解説してもらう。

天満 仁

県糖尿病専門医会代表

— 高血糖の状態が続くと合併症を引き起こすと聞きました。

糖尿病で最も怖いのは合併症です。血糖のコントロールが悪いと全身の血管が傷んで発症します。初期段階では自覚症状がないので医師の診察を受ける頃には手遅れになっていることもあります。初期は糖尿病の治療をすることで治りますが、段階が進むと治らなくなり。

— どんな病気がありますか。

細い血管が傷んで起る神経障害、網膜症、腎症が「三大合併症」として知られています。太い血管が傷むと心筋梗塞や脳梗塞を発症します。

神経障害は手足のしびれ、痛みなどの症状で発覚します。しびれは心臓から遠いつま先や足底から左右対称に現れるのが特徴です。

— 糖尿病で失明すると聞

合併症

初期は自覚症状なし

きます。

糖尿病性網膜症は、後天的な失明の原因では第2位です。糖尿病によって緑内障や白内障になることもあります。網膜症の失明はある日突然起こります。眼底検査をしないと見つからないので、糖尿病患者にとって眼科の受診は必須です。

— 人工透析を受ける人も多いそうですね。

糖尿病性腎症は、透析を受ける原因の第1位です。血液透析は週3回4時間ほどの時間をかけた通院が必要です。また糖尿病性腎症は他の腎症より予後が悪く、5年後の生存率が約50%にとどまるとのデータもあります。

— 合併症の怖さが分かった

てきました。

ED(勃起不全)も合併症の一つで、神経障害や血流障害により起こります。糖尿病でない人に比べて発症率が2~4倍ともいわれます。相談しにくい病気でもあり、医師やスタッフが尋ねるようにしています。

足の壊疽も、神経障害や血流障害などで起こります。足の血行が悪いと菌やウイルスに対する免疫力と治療力が落ちます。足の感覚が鈍っているのも、やけどやけがが悪化しても気付

今月のポイント

- 糖尿病の合併症は、全身の血管が傷んで起る
- 合併症の初期段階では自覚症状がない
- 神経障害、網膜症、腎症が糖尿病の三大合併症

きにくく、足が壊死し、切断するような事態になって病院に来る人もいます。

— 心筋梗塞や脳梗塞も恐ろしいですね。

動脈硬化が原因で起る心筋梗塞や脳梗塞は命に関わります。糖尿病患者の心筋梗塞は、心筋に栄養を送る全ての血管(冠動脈)が広範囲に細くなっていきます。そのため治療が難しく、再発を繰り返します。神経障害のため無痛で起る例もあり、発見が遅れることもあります。

糖尿病は初期から、食後の高血糖(グルコーススパイク)や血中のインスリン上昇が原因で動脈硬化を引き起こします。このため細い血管が傷む合併症より、心筋梗塞や脳梗塞の方がより初期の段階から発症するのです。早期発見、早期治療が重要です。

(聞き手)廣井和也
11月1回掲載

糖尿病の主な合併症



Q グルコース(血糖値)スパイク 食後血糖が急上昇し、下降していく変動幅が大きい状態。空腹時血糖が正常値でも、グルコーススパイクが繰り返されると、動脈硬化が起こり、血管が傷ついて、さまざまな病気が引き起こされる。